

新しい「まちの総合計画」

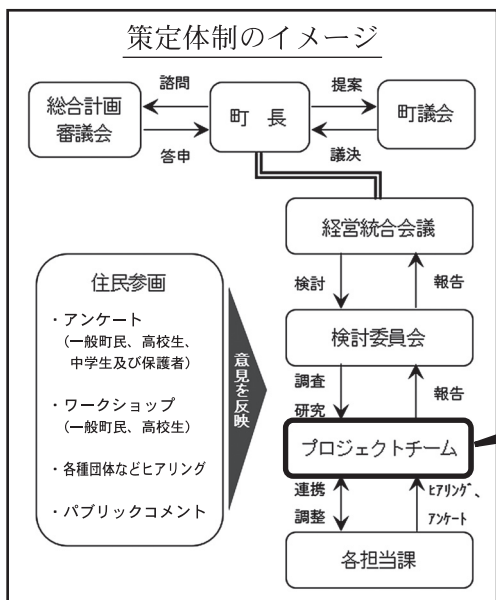
「まちづくりを住民のみなさんと」

町では、第6次総合計画の策定を全庁体制で取り組むため、総合計画の原案を決定する垂井町経営統合会議（議長：町長）のもとに検討委員会（委員長：副町長）を設け、総合計画の原案を検討していきます。

現在、検討委員会のもとに職員によるプロジェクトチームを設け、アンケートやワークショップで取りまとめた住民の意見や、部門別ヒアリングや職員アンケートで得られた役場職員の意見を取りまとめて、総合計画の素案の作成に取り組んでいます。

5月12日に、第1回目のプロジェクトチーム会議を開催し、新しい計画の構成などにかかる議論を開始しました。

今後、プロジェクトチームで議論した内容は、検討委員会、経営統合会議を経て総合計画審議会に諮問し、12月議会での議会議決を目指していきます。



▲第1回プロジェクトチーム会議のようす

担当者へ聞く



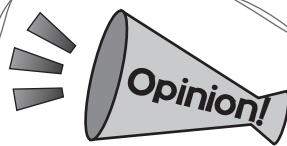
第6次総合計画は、町の人口が減少することを前提に考えていく初めての計画です。

人口減少は、地域経済の縮小、労働力の低下など、さまざまな影響が予想されている中で、



今後10年の垂井町が実施する施策の方向性を決めるため、プロジェクトチームの英知を結集しながら、町職員が使いやすく、みなさんにとってわかりやすい計画を目指します。

企画調整課 米山和成



第2回プロジェクトチーム会議

アンケートやワークショップなどの基礎調査を参考に、施策分野毎に関係するチーム員が集まり専門分野から意見を出し合う分科会方式で開催しました。

分科会で出た意見を整理し、施策の柱に反映させ、第3回プロジェクトチーム会議では全チーム員でさらに議論します。

